令和元年７月１２日

保　護　者　様

和歌山市立小倉小学校
校　長　嶋田　裕子

開　校　記　念　日　に　つ　い　て

向暑の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育推進のため、格別のご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、令和元年７月１６日は、小倉小学校の１１９回目の開校記念日にあたります。

本校は、明治３３年７月１６日に現在地（新庄）に「小倉尋常高等小学校」として創立。その後、昭和３３年４月１日に和歌山市に合併され、「和歌山市立小倉小学校」と改称されました。

昭和３６年４月１日には、校歌を改定し現在の校歌ができました。昭和４２年７月３１日にプール、昭和５０年には鉄筋校舎本館、昭和５３年６月には、鉄筋北校舎が完成しました。昭和５５年には、普通教室と給食室が新築されました。昭和５７年１月１４日には、屋内体育館が完成しました。

平成９年頃には、児童数が増加し、平成１０年７月に普通教室に加え、ランチルーム・リラックスルーム・わくわく広場が完成し、現在の教育環境が整いました。平成２２年には、創立１１０周年記念集会を行い、同時に校舎の耐震工事を行いました。その翌年には生活科室や多目的室を設置しました。

このような校舎を含めた施設・設備面の歩みに加え、社会や環境の変化に合わせ、教育内容や、方法においても時代のニーズに応じてさまざまな工夫、改善を行うなど、取り組みをすすめています。

こうした本校の歩みのかげには、地域の方々、育友会の方々、市当局の絶大なご尽力・ご苦労があったことを忘れてはなりません。

ご家庭でも伝統ある我が校について話し合い、お祝いする有意義な記念日にしてください。

新校舎全景（昭和11年）